

第三章活用事例

小学校五・六年生版「心たくましく」
「集団の中で自分の役割を果たす」

p.126
～
p.127

中心資料

「小川笙船」(私たちの道徳 小学校五・六年
平成二十六年 文部科学省)

【主題名】 自分の役割を果たす

第五学年及び第六学年 4-③

「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」

【ねらい】 自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする態度を育む。

《ねらいとする道徳的価値について》五・六年生の時期の児童は、身近な集団において、自分の立場や全体の動きを自覚できる活動に主体的、積極的に参加できるようになります。それらを通して自分の役割と責任を果たすとともに、成員相互の関わりの大切さや、協力して目標を達成することのよさに気付くことができるよう指導することが大切です。

導入



「小川笙船に関する資料を見て、どのような人なのかを考えましょう。」

○資料にある小川笙船の絵を提示して、人物への関心をもたせましょう。次に、小川笙船の略歴を紹介して、活躍についても確認します。また、小石川植物園に残る養生所の井戸の写真も紹介し、資料への興味をもたせましょう。

○教師が「小川笙船」を読み聞かせましょう。



「笙船は、どのような思いで養生所をつくることを殿様に訴えたのでしょうか。」

○温かい態度で定吉に接する笙船の姿にも着目させながら、医者として一人でも多くの人を救いたいという笙船の強い思いを捉えさせましょう。



中心発問



「目が回るような忙しさの中で、夜遅くまで治療を確かめたり、日誌に目を通したり、若い医者たちに声を掛けたりしながら、笙船はどのようなことを考えていたのでしょうか。」

○目が回るような忙しさの中で、夜遅くまで仕事をしながら、辛くとも自分の責任を最後まで果たそうとする笙船の姿を通して、自分の役割を自覚し、責任を果たすことのすばらしさに気付かせるようしましょう。



《評価》 自分の役割を自覚し、責任を果たすことの尊さについて、理解を深めることができたか。



「養生所に、みんなの笑顔と拍手の音が広がった時、笙船は、どのようなことを思ったのでしょうか。」

○笙船が、自分の役割と責任を果たせたと実感した時の満足感や充実感を捉えさせましょう。



「あなたは今、どのような集団で、どのような役割を果たしていますか。また、どのような気持ちで自分の役割を果たしているかと思いませんか。」

○「心たくましく」 p.126
～
p.127 「⑰集団の中で自分の役割を果たす」に記入させ、発表させましょう。

○教師自身が、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たした経験を、子供たちに語りましょう。

終末

板書例

自分の役割を果たす

小川 笙 船

小川笙船の絵

小川笙船の略歴

小石川植物園に残る養生所の井戸の写真

笙船は、どのような思いで養生所をつくることを殿様にうたったのでしょうか。

- 貧しいからしんりょうを受けられないなどということがあってはならない。
- 医者として一人でも多くの人を救いたい。
- 自分一人ではできなくても、多くの人を力を合わせれば、養生所をつくるができるはずだ。

目が回るような忙しさがしきの中で、夜おそくまで治りようを確かめたり、日誌に目を通したり、若い医者に声を掛けたりしながら、笙船はどのようなことを考えていたのでしょうか。

夜遅くまで仕事を
している笙船の挿
絵

- より多くの貧しい人の生命を助けるために、立派な医者を育てなければ。
- せっかく作ってもらった養生所だからしっかり仕事をしよう。それが自分の責任だ。
- 若い医者を自分のように育てよう。それも自分に与えられた役目なのだ。
- 今自分にできることに全力で取り組んでいこう。

養生所に、みんなの笑顔と拍手の音が広がった時、笙船は、どのようなことを思ったのでしょうか。

- ここで治療を受けた人が元気に過している。本当にうれしい。自分のやってきたことがむくわれた。
- これからも、自分の役目を責任をもって果たしていこう。
- どのような集団で、どのような役割を果たしていますか。
- どのような気持ちで自分の役割を果たしているかと思いませんか。

集団

- 家
- 学校
- 地域

役割

- 授業の始めと終わりに号令をかけている。
- 野球で副キャプテンをしている。

気持ち

- みんなが気持ちよく生活できるように、最後までしっかり責任を果たそう。

《評価》

自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする態度を育てることができたか。